

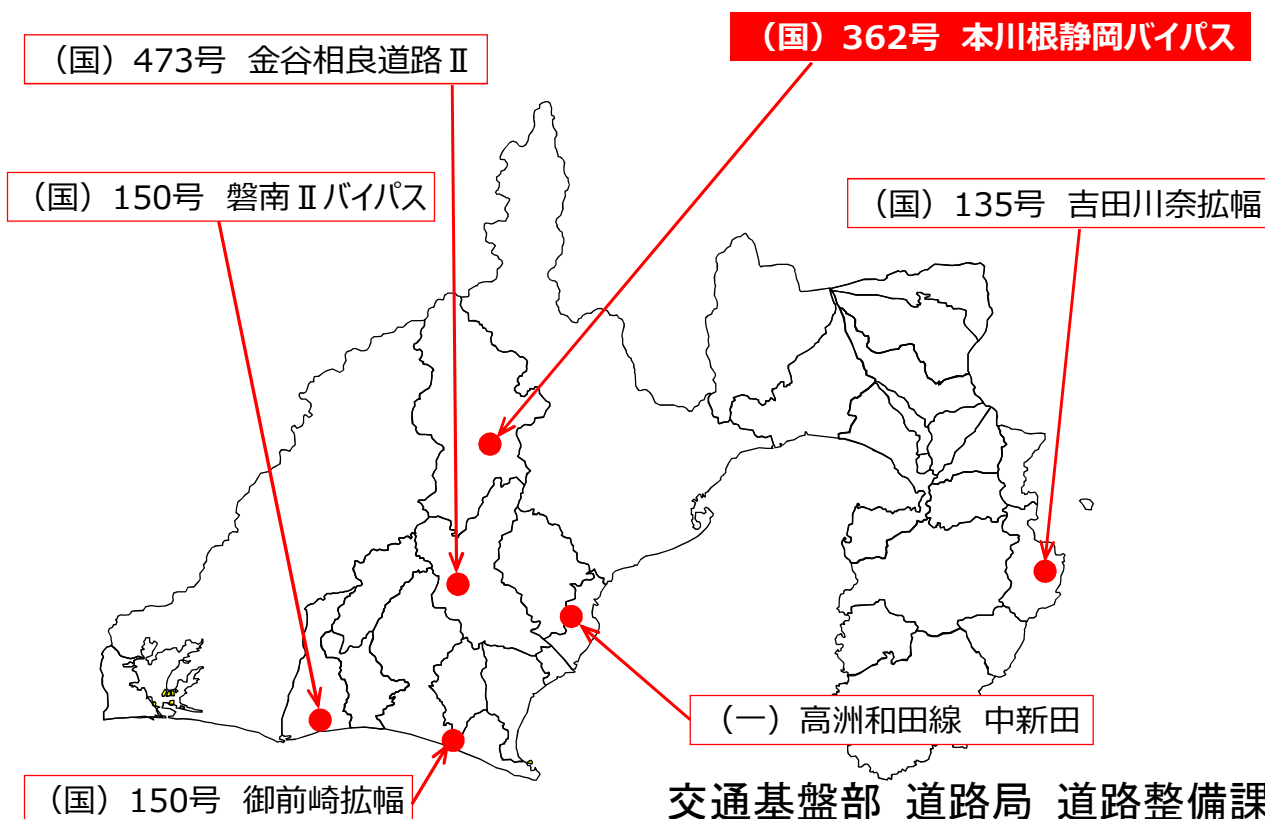
令和4年度 公共事業再評価

道路事業：6事業

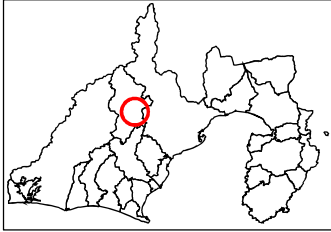
番号	事業名	箇所名	代表事業
4	道路改良事業	<small>いっばんこくどう</small> 一般国道362号 <small>ほんかわね しずおか</small> 本川根～静岡バイパス	○
5	道路改良事業	<small>いっばんこくどう</small> 一般国道135号 <small>よしだ かな</small> 吉田～川奈拡幅	
6	道路改良事業	<small>いっばんこくどう</small> 一般国道150号 <small>ほんなん</small> 磐南Ⅱバイパス	
7	道路改良事業	<small>いっばんこくどう</small> 一般国道150号 <small>おまえざき</small> 御前崎拡幅	
8	道路改良事業	<small>いっばんこくどう</small> 一般国道473号 <small>かなや さがら どうろ</small> 金谷相良道路Ⅱ	
9	道路改良事業	<small>いっばんけんどう たかす わた</small> 一般県道高洲和田線	

交通基盤部 道路局 道路整備課

令和4年度 公共事業再評価



1. 事業箇所位置図（詳細）



■ 国道362号の県内区間は、すべて第2次緊急輸送路に指定



2. 事業概要

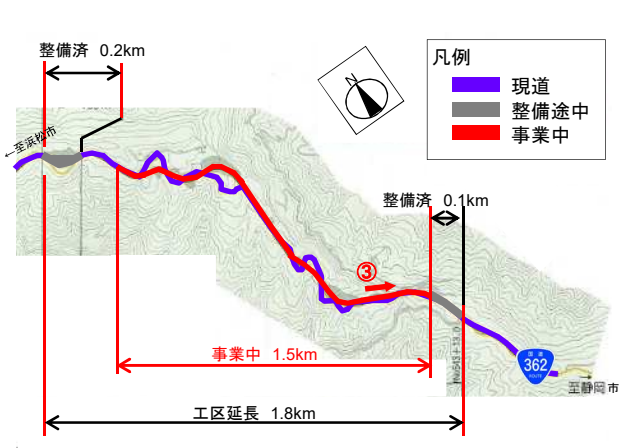


2. 事業概要

II-1工区 平面図



II-4工区 平面図

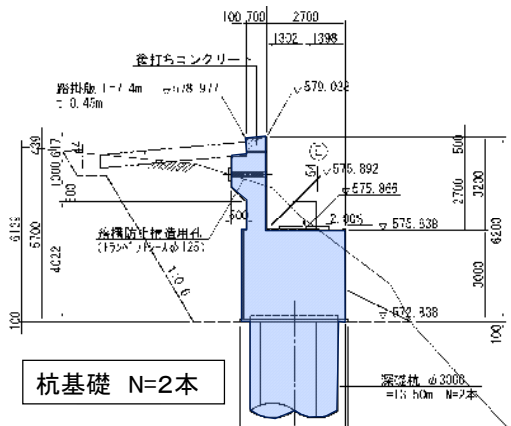


3. 事業を巡る社会情勢等の変化

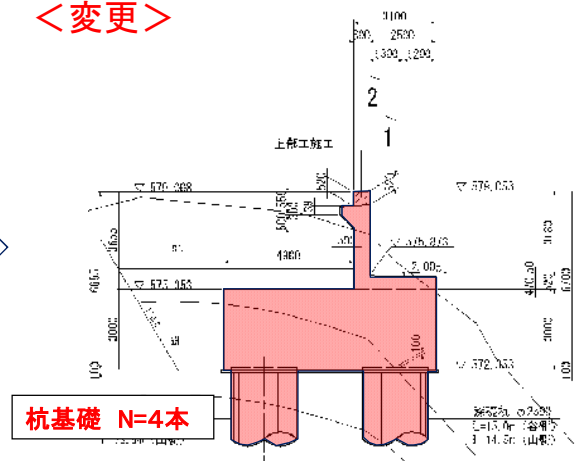
前回からの変更点・理由

	前回(H30)	今回(R4)	主な変更理由
①計画期間	S56～R4	S56～R8 (+4年)	・借地交渉の難航 ・道路橋示方書の改訂に伴う再検討
②全体事業費	24,000百万円	25,500百万円 (+1,500百万円)	・材料費等の上昇 ・道路橋示方書の改訂に伴う構造変更


<当初>



<変更>




4. 事業の投資効果（費用便益比）

総費用(C)	526.84億円	(前回評価時) (499.78億円)
改築費	522.86億円	
維持管理費	4.58億円	
用地残存価値	0.60億円	
総便益(B)	450.20億円	(434.4億円)
走行時間短縮便益	429.77億円	
走行経費減少便益	19.91億円	
交通事故減少便益	0.52億円	
		
	今回評価(R4)	
費用便益比(B/C)	0.85	(0.86)
経済的内部収益率(EIRR)	3.7%	

$$\text{費用便益比} = \frac{\text{総便益(走行時間短縮便益+走行経費減少便益+交通事故減少便益)}}{\text{総費用(事業費+維持管理費-用地残存価値)}}$$

【参考】事業の投資効果（費用便益比）

残事業に対する費用対効果

総費用(C)	28.25億円
改築費	26.90億円
維持管理費	1.35億円
用地残存価値	0.00億円
総便益(B)	96.00億円
走行時間短縮便益	92.86億円
走行経費減少便益	3.14億円
交通事故減少便益	0.00億円
	
	今回評価(R4)
費用便益比(B/C)	3.39
経済的内部収益率(EIRR)	14.4%

$$\text{費用便益比} = \frac{\text{残事業の便益 (継続した場合の便益-中止した場合の便益)}}{\text{残事業の費用 (継続した場合の費用-中止した場合の費用)}}$$

5. 事業の投資効果（定性的な効果）

① 安全で円滑な交通の確保

- 災害に強い道路ネットワーク

② 救急医療への寄与

- 高度医療機関へのアクセス向上

③ 観光活性化への寄与

- 観光産業の支援

5. 事業の投資効果（定性的な効果）

① 安全で円滑な交通の確保（災害に強い道路ネットワーク）

- ・事業区間は、狭隘かつすれ違い困難な箇所や防災上の要対策箇所が多数存在する。
- ・事業区間の整備により、狭隘かつすれ違い困難な箇所や要対策箇所が解消され、安全で円滑な交通が確保される。また、事前通行規制区間の緩和等にも期待される。



防災上の要対策箇所(未改良)



狭隘区間(未改良)



5. 事業の投資効果（定性的な効果）

① 安全で円滑な交通の確保

- 災害に強い道路ネットワーク

② 救急医療への寄与

- 高度医療機関へのアクセス向上

③ 観光活性化への寄与

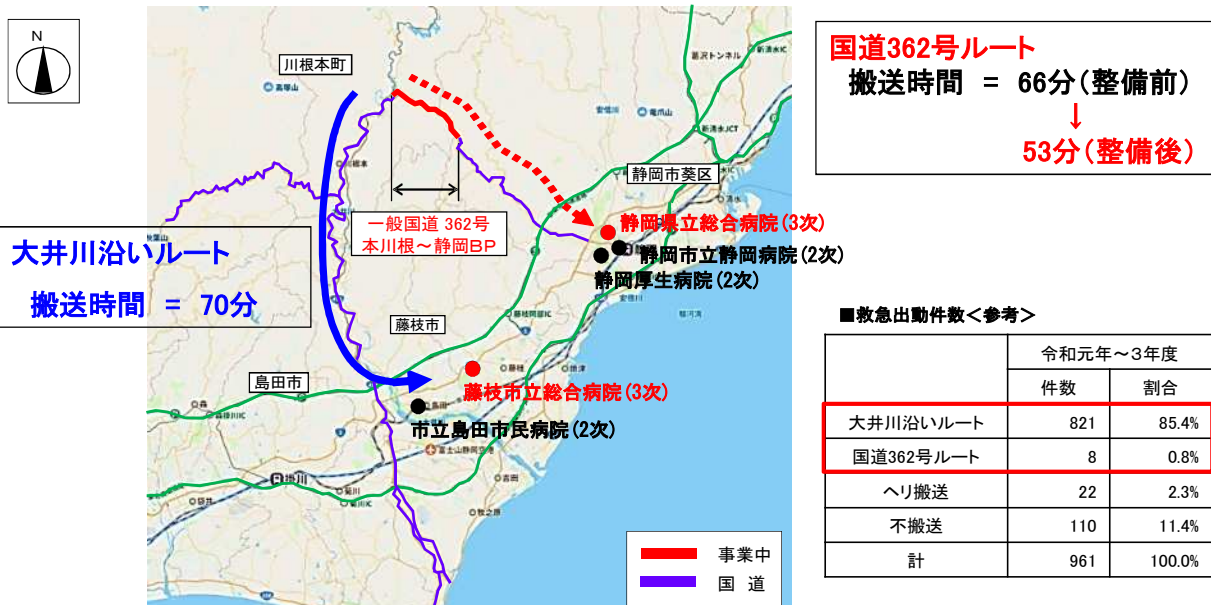
- 観光産業の支援

5. 事業の投資効果（定性的な効果）

② 救急医療への寄与（高度医療機関へのアクセス向上）

- ・川根本町周辺から第2次、第3次救急医療機関への救急搬送は、搬送時間は長くなるが、カーブ等が少ない「大井川沿いルート」での搬送割合が高い。
- ・事業区間の整備により、連続するカーブ等の線形不良が解消され、搬送時間の短い「国道362号ルート」での搬送増加が見込まれる。

■救急医療施設への搬送ルート



5. 事業の投資効果（定性的な効果）

① 安全で円滑な交通の確保

- 災害に強い道路ネットワーク

② 救急医療への寄与

- 高度医療機関へのアクセス向上

③ 観光活性化への寄与

- 観光産業の支援

5. 事業の投資効果（定性的な効果）

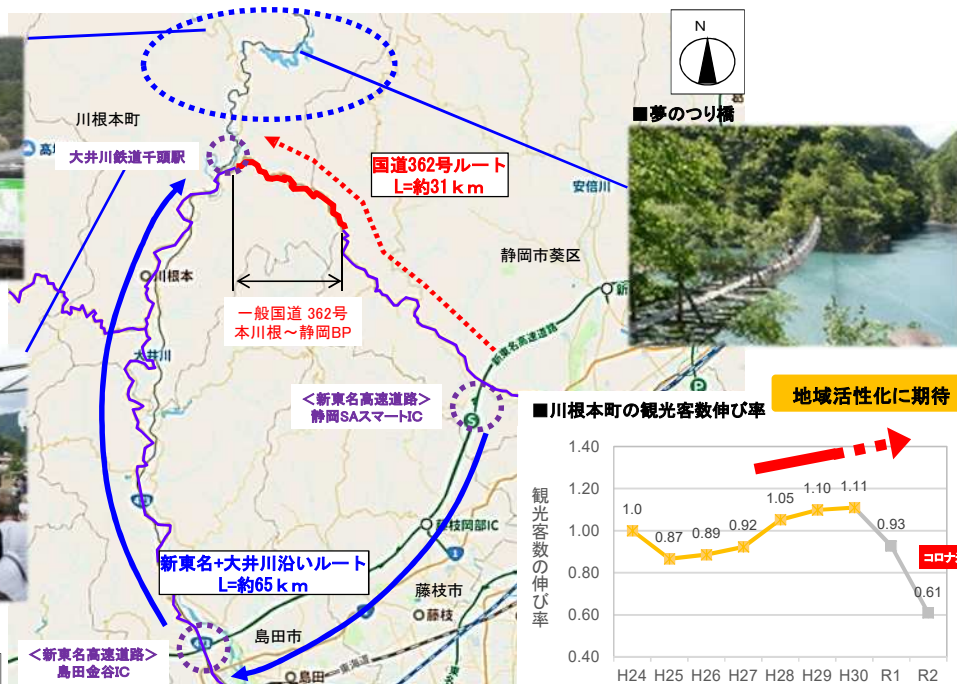
③ 観光活性化への寄与（観光産業への寄与）

- ・事業区間周辺には、川根本町の主要な観光資源が多数存在
- ・事業区間の整備により、東京方面からのアクセス性が向上し、観光産業の活性化に寄与

■寸又峡温泉



■大井川鉄道千頭駅



6. 事業の進捗状況

- ・【事業費】 : 89%(令和4年度末見込み)
- ・【事業量】 : 69%(令和4年度末見込み)
- ・【用地取得】 : 100%(令和3年度末時点)

7. 今後の事業の進捗の見込み

- ・ 施工中のバイパス区間の残る1橋について、令和3年度より下部工(橋台1基、橋脚3基)に着手している。地元の期待も大きく、順調に進捗していることから令和8年度の供用が見込まれる。

8. 新たなコスト縮減・代替案立案等の可能性

- ・ 擁壁構造の見直しを図ることで、コスト縮減に努めていく。
- ・ 建設発生土について、近隣の工事箇所と調整を図り、運搬・処分費や購入費等の低減を図っていく。

9. 対応方針(案)

本事業は、

- ・ 狭隘かつすれ違い困難な箇所や要対策箇所の解消により、安全で円滑な交通が確保されることに加え、高度医療機関へのアクセス性が向上することで、救急搬送への寄与も期待される。
- ・ 観光施設へのアクセス性が向上し、観光活性化に寄与する。
- ・ 費用便益比(B/C)は、1.0を下回るが、EIRR(経済的内部収益率)は3.7%であることに加え、残事業費に対する費用便益比(B/C)も3.39と1.0を大きく上回る。

以上から、事業効果が大きい。



事業を継続し、早期完成を図る。